



認知症疾患医療センターってどんなところ！？

発行：京都市保健福祉局長寿社会部長寿福祉課（Tel075-251-1106） 平成25年9月

平成25年5月下旬から6月初旬にかけて皆さんにご協力を頂いた「認知症相談支援マニュアル（仮称）作成に関するアンケート」で、「認知症疾患医療センターについて知りたい！！」という声をたくさんいただきました。そこで、マニュアル発行より一足早く認知症疾患医療センターについてご紹介したいと思います。

そもそも…認知症疾患医療センターって何？

「認知症疾患の保健医療水準の向上を図ることを目的とする専門医療機関（保健医療・介護機関等と連携を図りながら、認知症疾患に関する鑑別診断、周辺症状と身体合併症に対する急性期治療、専門医療相談を実施するとともに、地域保健医療・介護関係者への研修等を実施する）。」

『第5期京都市民長寿すこやかプラン』用語解説より

☆認知症疾患医療センターには現在、次の2つのタイプがあります。

地域型→認知症の専門医療相談及び認知症医療に関する地域連携の中核となる医療機関

基幹型→地域型の機能に加えて、身体合併症など救急・急性期医療に対応できる医療機関

☆平成25年7月1日現在、京都府内には認知症疾患医療センターが5か所あります。

類型	病院機関名	所在地	相談窓口電話番号
地域型	京都府立洛南病院	宇治市	0774-32-5960
	医療法人栄仁会 宇治おうばく病院	宇治市	0774-32-8226
	一般財団法人療道協会 西山病院	長岡京市	075-955-2229
基幹型	国立病院機構 舞鶴医療センター	舞鶴市	0773-62-1710
	京都府立医科大学附属病院	京都市	075-251-5566

今回は市内にある京都府立医科大学附属病院の認知症疾患医療センターを取り上げます。

まずは、概要から…。



所在地	京都市上京区河原町通広小路下る梶井町 465 （市バス「府立医大病院前」下車すぐ）
電話番号	075-251-5566 （認知症疾患医療センター直通） 受付時間：平日 9:00～12:00, 13:00～17:00
新規相談	火・木・金曜日 13:00～
スタッフ	医師：5名 心理士：3名 看護師：1名 相談員：1名

では、実際に認知症疾患医療センターに受診する患者さんはどんな診察や検査を受けるのでしょうか？

次ページで詳しくお伝えしたいと思います。

認知症疾患医療センターへのかかり方



～長寿ミヤコさんの場合～

予約から受診に至るまで

ミヤコさんが「通院する」と言ったので、娘さんは早速、府立医大附属病院の認知症疾患医療センターに予約の電話をしました。娘さんは電話でミヤコさんの日常の様子などを聞かれた後、「〇月△日の木曜日、13時に診察に来てください。かかりつけの病院があれば、紹介状をもらってきてくださいね」と言われました。後日、ミヤコさんは娘さんに連れられて日頃高血圧の治療で通院している内科医院に行き、紹介状を書いてもらいました。

初めての受診

〇月△日（木曜日）一娘さんと一緒に府立医大附属病院にやってきたミヤコさん。1階の受付で初診の手続きをし、3階のメンタルケアセンターの受付で名前を告げるとほどなく名前を呼ばれて診察室へ・・・



診察室にて 診察室内では、次の順番でいろいろな聞き取りがあります。

①インテーク（初回面接）（ミヤコさん、娘さん）

受診に至った経緯や日頃の生活状況、生育歴など相談員からの聞き取りがあります（約30分）。

②心理検査（ミヤコさん）

心理士による様々な心理検査があります（約1時間30分）。

娘さんはその間引き続きインテークを受けるなどして待っていました。

③診察（ミヤコさん、娘さん）

先生から簡単な聞き取りがあった後、次回の受診日を決めます（約10分）。

ミヤコさんは1週間後の〇月□日に受診することになりました。

検査 診察後、2階の検査室で採血と心電図の検査を受けてから、病院のすぐ近くにある「梶井町放射線診断科クリニック」でMRIを撮りました（約30分）。

ミヤコさんの窓口負担は1割です。
（お持ちの保険証によって負担割合は異なります）



会計 「梶井町放射線診断科クリニック」で2,490円、病院で3,690円を支払いました。

紹介状がない場合は、
初診料と3,150円がかかります。
疾患医療センターからも、地域の医療機関
で紹介状をもらうように声かけされる
そうです。

完全予約制で、原則1日1人なので、
待ち時間はほとんどありません。

心理検査の一例

＜質問に答えることが中心のテスト＞

- ・MMSE
- ・ADAS

→抗認知症薬の効き目を評価するテストです。

・リバーミード行動記憶検査

＜課題通りの絵を描くテスト＞

- ・時計描画検査
- ・バウムテスト

府立医大附属病院では、患者さんの情報を教育
や研究に使用することがあるため、最初の受診
時に承諾書をとるそうです。

カンファレンス（※患者さんやご家族には非公開です）

京都府立医科大学附属病院では、認知症疾患医療センターのスタッフや学生などが出席したカンファレンスが定期的に開催されています。

カンファレンスでは認知症疾患医療センターを初めて受診した全ての患者さんについて、心理検査やMRIの画像を視ながら診断名・今後の対応などについて検討されます。

その後

ミヤコさんは府立医大附属病院への4週間おきの通院を3回続けた後、かかりつけの内科医院で認知症のお薬を処方してもらいながら、一人暮らしを続けています。

後日高齢サポートに電話し、職員さんに訪問してもらったところ、介護保険を申請することになりました。高齢サポートの職員さんは「何かあったら相談してきてくださいね」と言ってくれています。

近くで相談に
乗ってくれる人
がいてくれると
安心ね！



2回目の診察

〇月□日（水曜日）一ミヤコさんは娘さんと一緒に再び府立医大附属病院に行きました。1階の自動再来受付機で手続きをし、3階のメンタルケアセンターの受付で名前を言うと、すぐに診察室から名前を呼ばれました。

診察室にて 前回とは違う先生がお出迎え。今後、主治医になってくださる先生だそうです。

①医師の診断（娘さん）

主治医の先生から診断名の告知と同時に、ミヤコさんに病名を伝えてよいかを確認されます。

ミヤコさんは「初期のアルツハイマー型認知症」との診断を受け、娘さんからは「病名は伏せてほしい」との意向でした。その間、ミヤコさんは看護師さんと診察室の隣の部屋で待っていました。

②今後の治療方針についての説明（ミヤコさん、娘さん）

今度は、ミヤコさんも一緒に、主治医の先生から病気についての説明を受けます。

ミヤコさんは治療が必要なので「認知症の薬の種類をどうするか」や「今後しばらく府立医大附属病院への受診を続けるかどうか」などといったことを主治医とミヤコさん、娘さんとで話し合いました。

③介護等の相談（ミヤコさん、娘さん）

相談員さんから介護保険サービスについて説明を受けました。「サービスについては地域の高齢サポートに相談してください」と言われたので、ミヤコさんと娘さんは高齢サポートの電話番号を覚えてもらいました。

会計 この日は400円を支払い、処方箋を受け取りました。そして自宅近くの薬局でお薬をもらいました。

カンファレンスではSPECTなど
追加の検査をする必要があるかどうか
についても検討します。



相談員の谷川さんに伺ってみました！

京都府立医科大学附属病院認知症疾患医療センターで相談員をされている精神保健福祉士の谷川さんに、認知症疾患医療センターのことについて伺ってみました。

Q. 認知症疾患医療センターを受診はどのような傾向にありますか？

- A. 平成24年度の実績では次のような傾向がありました。今年度も大きな変化はありません。
- ・男女比は概ね1：2で女性が圧倒的に多い。
 - ・平均年齢は76.3歳。最年長は93歳、最年少は43歳。70歳代と80歳代が8割を占める。
- また軽度で専門医療機関でないと診断が付きにくい方が多く、認知症と診断されない方が4割程度おられます。MC I（軽度認知障害）と診断された場合でも心理検査やMRI，SPECTの結果次第で、抗認知症薬の投与を開始する場合があります。

Q. 受診に至る経過は？

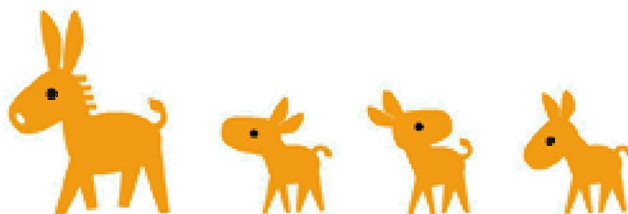
- A. 他の医療機関からの紹介が6割を占めますが、最近ではテレビなどでの認知症の理解が進んでいるためか、インターネットで調べて直接電話をかけてくる人も多くおられます。予約の電話は本人がかけてくる場合もありますが、多くはご家族（配偶者、子）です。

Q. 予約電話をしてから初回の診察まではだいたいどのくらいかかりますか？

- A. 1ヶ月以内にしたいと思っていますが、予約の件数が多くなると初回の受診までの期間が長くなります。7月末現在では予約件数が多く、予約電話から初回の診察までに1ヶ月半程度かかります。

Q. “介護等の相談”では、介護保険や高齢サポートのこと以外にどのような情報提供をされていますか？

- A. 医療費の窓口負担が2割や3割の方に関しては、自立支援医療（精神通院）の手続きをお勧めすることがありますし、「金銭管理が適切に行えなくなった」といった相談に対しては、独自に作成したリーフレットにて成年後見制度や日常生活自立支援事業の紹介をしています。
- また、主に若年の方については精神障害者保健福祉手帳の取得や障害年金の支給申請手続きの案内をしたり、職場の人事担当者の方に病状説明をし、配慮してもらえるように働きかけたりすることもあります。



編集後記

何と偶然にも府立医大附属病院の広報誌最新号（8月発行）の特集は認知症疾患医療センターです。インターネットで見ることでもありますので、ご興味のある方はご覧あれ！

さてさて、「京都市認知症地域支援推進員活動ニュース」第一弾はいかがでしたか？今後も日頃の業務にお忙しい皆さんに代わって、認知症の人の支援に役立ちそうなアレコレを調べて、まとめて、発信していきたいと思っていますので、「分からへん」「知りたいわ」ということがあれば、お気軽にご用命くださいな。（ま）